**荏原第五地区委員会　パラ荏五リンピック☆ボッチャ大会**

令和3年12月12日(日)、豊葉の杜学園アリーナにて、荏原第五地区委員会主催の町会対抗ボッチャ大会が開催されました。

ボッチャとは、ヨーロッパで生まれた障害者スポーツです。パラリンピックの正式種目にもなっていて、2020東京パラリンピックでは日本人選手が金メダルを獲得した今注目の競技です。赤と青の2チームに分かれ、それぞれのカラーボールを投げたり転がしたりしながら、的であるジャックボールにどれだけボールを近づけるかを競います。

今回は新型コロナウイルス感染予防の観点から一般応募は行わず、人数や開催時間を縮小した形で実施しました。さらに、マスクの着用や手指・物品の消毒、換気、感染予防チェック表などを取り入れ、感染予防対策を徹底して行いました。

出場チームは、管内の10町会から集まった全20チーム。小学生からシニアの方まで、幅広い世代の方が参加しました。

試合は、予選ブロック戦を行った後に勝ち抜いた6チームで決勝トーナメント戦を行いました。

白熱した試合が数多く見受けられ、なかでも決勝戦では参加者全員がコートを囲んで試合を観戦し、大いに盛り上がりました。見事優勝に輝いたのは豊町一丁目町会の「ゆたかロケット(S)」でした。

一昨年に引き続き、世代を超えて楽しめるボッチャ大会となりました。また、コロナの影響によりなかなか皆さんで集まれない日々が続いていましたが、久しぶりに地域の交流を深める機会となりました。